

# 吉川区吉井で地滑り、川をせき止める



大雪の後は雪どけ時期の地滑りが起きやすい。心配されたことが吉川区吉井地内で発生しました。吉川区の上吉井から下吉井へと流れ、平等寺川に合流する川のそばの山が崩れ、川をせき止めてしまったのです。

現場を案内して下さった地元の方は、「上吉井に用があって行く途中、崩れているのを発見した。この水は田んぼの用水にもなっているの、早急に対応してもらいたい」と訴えておられました。

現在、吉川区総合事務所が窓口になって市役所が動いています。今回は小規模でしたが、今後、規模の大きな融雪災害が発生する可能性もあります。雪崩、地滑りに注意しましょう。

## 柿崎区地域協議会がフォーラム

22日、柿崎区地域協議会主催の活動報告集会（まちづくりフォーラム）に参加してきました。集会では、同協議会の活動だけでなく、産業廃棄物最終処分場など同区の当面する課題についても報告がありました。

メインは同協議会の自主審議事項の報告です。この日は、①「柿崎山岳会解散後の米山登山道等の維持管理及び魅力発信を考える」②「スポーツを通じた地域振興・地域活性化を考える」、③「住民、地域、団体をつなぐ新たなネットワークの構築を考える」など3つの報告がありました。

私は米山大好き人間ですが、米山登山道の整備の今後について真剣に検討されているのはありがたいです。また、地域ネットワークの構築の話は吉川区など他地区でも重要課題です。改めて現状を見つめ直し、今後の対策を考えてみようと思います。



**【マンサク】** マンサク科の落葉小高木。漢字で「満作」とか「万作」と書きます。子どもの頃、ハリキヤマ（春木山と書くらしい）で切って集めた細い雑木をこの木でしばったものです。「ねじき」とも呼んでいました。花期は2月から3月。花卉の独特なピラピラな形が気に入っています。花言葉は「幸福の再来」「不思議な力」「ひらめき」など。写真は2月24日、吉川区にて撮影しました。



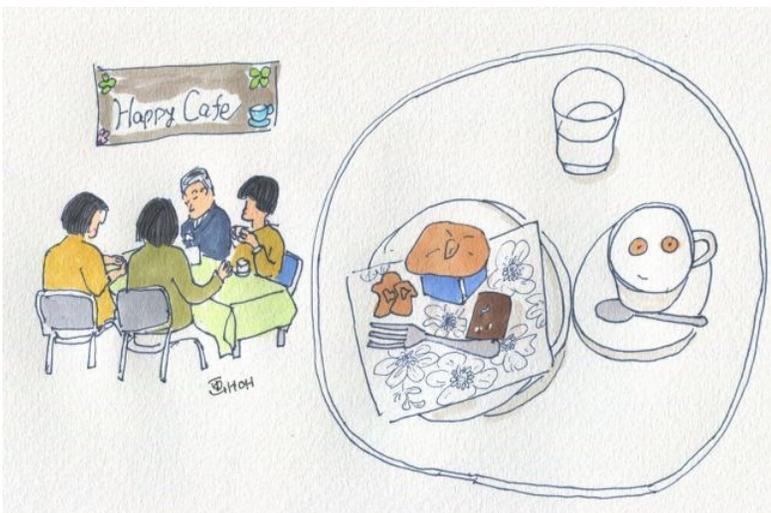
吉川区でコウノトリの巣づくりが活発化しています。前の巣は壊れましたので、事実上の再建です。オスが中心になり、小枝や柔らかな枯れ草などを運んでいて、完成間近です。すでにこれまでのペアが交尾してしますので、もう少しで抱卵状態に入るはずですが、3回目のヒナ誕生が楽しみです。2月23日撮影。



## 今年度最後のハッピーカフェ

2月18日、久しぶりに吉川高等特別支援学校のハッピーカフェに行ってきました。同カフェは相変わらずの人気で、約1時間ほど待ちました。

生徒たちは挨拶がしっかりしていて、気持ちよくカプチーノを飲み、シフォンケーキを食べました。



# はしづめ法一の活動レポート

**No.2241 2026.3.1**  
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3627  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
 URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第八八八回

## 凍みわたり

長い冬のなかで、いくつになっても忘れられない喜び……。そこまで言えば、もう頭に浮かぶ人もいるでしょう。凍みわたりです。

たいがいは三月、それも積もった雪がぐんぐん減りはじめたころ、夜中から朝にかけて急速に冷え込んだときに凍みわたりができます。雪がガチガチに凍り、雪があればどこにでも自由に歩いて行かれます。その凍みわたりができる日、今冬は二月にやってきました。しかも三日連続です。一日だけの凍みわたりでもうれしいのに、翌日も、その翌日も……。もう最高でした。

二月二十二日は八時過ぎに私の地元・代石(たいし)にある代石の池周辺で凍みわたりをしてきました。ここは平地だけでなく、坂もあるし池もある。ひよっとすれば小鳥たちの鳴き声も聞こえるかもしれない。そんな期待もあって、凍みわたりの場所として選びました。

近くの県道に車をとめて、まずはゆるい坂道を歩きました。まだ道には日が当たっておらず、東側の木々が影になってひんやりしていました。雪の上を歩くと、「ザ、ザ、ザ」というリズム感のあるこちよい音がします。歩いていて、こういう音がするのは、凍みわたりの時だけです。長靴の下から楽しい音が聞こえてくるなんて、素敵じゃありませんか。土やアスファルトなどの上を歩いても決して味わうことのできない快感です。

坂道を三〇分ほど歩いたところで、パツと明るくなりました。朝の日があたっている場所に出たのです。東側を見上げたら、杉の木の上からまぶしい太陽が私を見ていました。冬の太陽の光は朝であろが日中であろが気持ちいいものですが、凍みわたりができる寒い日の朝日は格別です。道のそばに植えてある三本の桜の木も一気に温められ、喜んで両手を広げているように

見えました。

日があたる場所の雪の色もいつもと違います。小さな雪の粒がキラキラしています。初めて見た人は、雪のなかのあちこちに小さなダイヤモンドが転がって輝いている、そう思うに違いありません。この「ダイヤモンド」は凍みわたりをする人にだけ与えられるプレゼントです。

池の「釣り禁止」看板が見える場所から左に曲がって、少し急な坂道へ進みました。坂を登り切ったところで、私は、「大丈夫だ、折れない」と声を出しました。じつはこの日、凍みわたりの場所として代石の池を選んだ理由にはもう一つあったのです。それは数年前から実を食べさせてもらっているナツハゼの木です。これが無事かどうか気になっていたので。お陰様で、この木は二月上旬のドカ雪にも負けずしっかりと枝を張っていました。

ナツハゼの木を見てから、池の水が凍った姿を見ながら、池の堤体(堤防)を歩きました。真ん中あたりまで歩いて、一回止まりました。米山さんの姿が見えたからです。三階節で有名なこの山は午前午後とも美しい。そして、再び歩き、水門の近くまで行って、また止まりました。池から流れ落ちる水の音が聞こえてきたのです。この音も間違いなく「春の音」です。

最後は、水門のところから道を少し下り、そこから下に見える田んぼをめざしました。急な坂ですが、雪は凍っていてもツルツルではなく、ザラザラです。ブレーキもかかります。夏には又マトラノオの花が咲く場所を「ザザザ」と上手に滑って下りました。

この日、凍みわたりをしたのは十五分くらいでした。子ども時代から毎年凍みわたりをしています。年をとっても歩けるうちは楽しみたいものです。だって、凍みわたりは雪国の最高に楽しい遊びですから。

## 「杉みき子の世界」に感動

素敵な朗読の会でした。2月22日、高田のオーレンアラザで開催された「河村一美さんに捧げるお話し会」のことです。

読み聞かせサークルワンダーランドの大越さとみさんが児童文学者、杉みき子さんの「かくれんぼ」「火をありがとう」などの作品を読んでくださいました。

私が大越さんの朗読を聴くのは今回が初めてです。杉みき子さんの作品はいくつも読んでいま

が、この人の朗読で杉さんが書かれた雪国、子どもの世界がこんなにも魅力に満ちたものかとうれしくなりました。スクリーンに映し出された村山陽さんの絵とバックで演奏してくださったピアノの音も見事にコラボしてしました。



ニュースフラッシュ

## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月18日(水)	2月25日(水)
上越消防署	0.057	0.057
上越南消防署	0.043	0.040
新井消防署	0.047	0.053
頸北消防署	0.047	0.057
頸南消防署	0.063	0.067
東頸消防署	0.047	0.053
名立分遣所	0.060	0.063
高土分遣所	0.050	0.053

## ピアスが14日に新曲発表

コミュニティバンド・ピアスのポカール、maco(マコ)さんが「越後よしかわ～和になって輪になって～」という歌をこのほど作りました。

この歌には吉川区の四季折々の風景、野の花、越後よしかわやっただ祭りなどが盛り込まれていて、とても素敵です。

新曲発表は14日、スカイトピア遊ランドで行われる「新酒を楽しむ会」です。楽しみですね。左はCDジャケット。

